

第8回 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産学術委員会（議事要旨）

日 時：2020年10月8日（木）15:00～17:00

場 所：大阪府庁咲洲庁舎 38階会議室

出席委員：岡田委員長、和田副委員長、稲葉委員、西村委員、増田委員、宗田委員、
シュタインハウス委員

オブザーバー：文化庁文化資源活用課文化遺産国際協力室西川調査官、岩村係長

（※議題1・2：公開、3：非公開）

-：委員、⇒：事務局

1 本年度事業予定について（報告）

○各種の取組について報告し、次のような質疑がなされた。

（大仙公園周辺事業）

- 百舌鳥古墳群ビジターセンターと堺市博物館はいかに役割分担するか。
⇒百舌鳥古墳群ビジターセンターは入門者向け、堺市博物館はさらに深く知りたい方向けという方針で準備を進めている。
- 施設での説明に関しては、長期的展望（堺ミュージアム）を視野に入れつつ、次の点等も課題として認識しながら検討を進めること。
 - 音声解説の充実（多言語化）
 - 日本史の知識がない外国人向けの配慮およびニーズの把握

2 遺産影響評価および遺産影響評価関連事業について（議事）

○案の内容について説明し、次のような指摘を受けた。

（大仙公園基本計画の遺産影響評価書（案））

- 最終的に英訳することを念頭に置き、次の点を意識しつつ記述を修正すること。
 - 顕著な普遍的価値の言明（特に価値を伝える属性（細項目を含む））に即した結論部分の項目立ておよび論理構成の精査
 - 今後の公園内での事業にかかる遺産影響評価の取り扱いの明確化
 - 樹木の管理と顕著な普遍的価値の保護の関連性
- 遺産影響評価と他の手続きの整合性に留意してスケジュールの精査を行うこと。

以 上